

小黒恵子童謡記念館について

川崎市出身の詩人で童謡作家の小黒恵子(1928~2014年)は、草花や動物、昆虫など身近な自然と生きる喜びをテーマに、多くの作品を残しました。

1991(平成3)年には自宅を改築して小黒恵子童謡記念館を開館しましたが、亡くなったのち、川崎市に遺贈され、2017(平成29)年4月1日にリニューアルオープンしました。

記念館では、小黒恵子の功績を紹介した展示やコンサート等イベント開催の他、貸ホール（閉館日のみ）や貸室を提供しています。



開館日と開館時間

日曜・月曜・木曜・祝日 10:00~17:00

(12月29日～1月4日を除く)

※1階ホール、2階展示室をご覧いただけます。

入館料

○大人：200円（年間パスポート 1,000円）

○小学生以上 18 歳以下:100 円(年間パスポート 500 円)

ピアノ開放デーについて

小黒恵子童謡記念館のピアノは、日本に3台しかない貴重なピアノ（<97鍵盤>ベーゼンドルファーインペリアル）です。

「川崎市のくまちのひろば」としての役割を持つ小黒恵子童謡記念館では、このピアノを、プロの方だけではなく、幅広くどなたでも弾いていただきたいと、ピアノ開放デーを実施しています。

通常のピアノ開放デーは、小学生以上を対象にしており、年間を通して実施日が決まっている「定期開催ピアノ開放デー」と、毎週ホールの空き状況によって1週間分の開催をお知らせする「臨時ピアノ開放デー」があります（詳しくは小黒恵子童謡記念館HPをご覧ください）。

今回初めての試みとして、小学生・中学生・高校生を対象にピアノ開放デーを行うこととしました。

